

第二次下野市教育振興計画（案）に関するパブリックコメントの結果について

1. パブリックコメントの実施状況

(1) ご意見の募集期間

令和3年1月4日（月）～令和3年1月25日（月）

(2) ご意見の応募者数及び件数

- ・ 応募者数及び件数 2名、9件
- ・ 男女内訳 男性：2名 女性：0名
- ・ 年代内訳 70歳代：1名 80歳代：1名

(3) 提出方法の内訳

郵 送	ファクシミリ	電子メール	持 参	計
—	—	—	2	2

2. ご意見の概要と考え方

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	P3～P4 第3章 ESD（持続可能な開発のための教育）を通じたSDGs（持続可能な開発目標）の達成	教育振興計画に国際目標のSDGsを持ち込んだことは評価すべきことである。小山市の定住自立圏共生ビジョンも同じように表記している。	本計画にSDGsの考え方を位置付け、本市の小中学校において、持続可能な社会の担い手となることを目指した教育を進めてまいります。
2	P7 6～7行目 ◆主な成果 ○市立小・中学校校舎及び屋内運動場の大規模改修	石橋中学校の鳥の糞害の対処がなされていないのに、何の問題もなく改修工事が終了したような印象を与える記載である。	下野市学校施設等長寿命化計画に基づき、「快適な教育環境の充実を図るための整備等を推進」した成果として、特定の学校の状況のみではなく、市立小・中学校校舎及び屋内運動場の大規模改修について記しております。

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
3	P 2 3 1 3 行目 複式学級の解消に努めているところ です。	複式学級の解消に努めている段階ではなく、過小規模校を適正規模校に編入すればいいだけの話である。	学校適正配置推進協議会と協議しながら、下野市学校適正配置基本計画の推進に努めてまいります。
4	P 2 4 8 行目～ 学校運営協議会の活動の更なる充実を図り、子どもたちが笑顔にあふれ、地域を知り、地域に触れ、地域を学び、地域を語れるように、学校と保護者、地域が一体となった教育を推進していきます。	下野市学校運営協議会運営マニュアルが、協議会会議の議事録において委員個々の発言の記載を不要としていること、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5が反映されていないこと、並びに研修会が行われていないことから教育振興計画で示している取組方針どおりにならないのではないかと。	教育振興計画に掲げた取組方針を達成できるよう努めてまいります。
5	P 2 6 4 行目～ 学校への行き渋りや不登校傾向の児童生徒も少なからず存在しているのが現状です。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会は市内の小中学校にどのくらいの不登校生がいるかを把握もせず、教育振興計画を作成しているのか。 ・重大な問題である不登校問題を、「不登校傾向の児童生徒」という程度の認識で捉えているのか。 	<p>不登校児童生徒の状況について、市としても定期的に確認し把握に努めております。</p> <p>「不登校傾向」と「不登校」を一括りにしていること、「少なくない」という意味で用いた「少なからず」という表現が誤解を生じる可能性があることから、「不登校傾向の児童生徒も少なからず」を「不登校傾向及び不登校の児童生徒も」と修正します。</p>
6	P 3 3 目指すべき方向性2 人権教育を推進し、社会的包摂の意識醸成を市民主体の協働のまちづくりにつなげます。	人権教育のところでSDGs 目標5「ジェンダー平等を実施しよう」は馴染みが薄いので、しっかりした実施要領をつくって進めないと逆効果になる。パブリックコメント意見等記入用紙の性別表示も、そのような点から遅れている。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
7	P 3 7 取組方針（3）年輪のつどい・成人式等の開催	60歳の節目に実施する「年輪のつどい」は地域力や市民力を発揮するための絶好の機会である。グループ討議や細かいアンケートを通じて人材発掘に努めるべきである。	年輪のつどいは、県内でも珍しい特色ある行事と認識しております。この機会に地域に目を向けていただくため、式典参加者には当日、公民館自主サークルや生涯学習情報センター活動団体の周知・チラシの配布に努めております。 現在、式典及び記念事業という形式で実施しておりますが、いただいた意見は今後の参考とさせていただきます。
8	P 6 3 IV 教育振興計画の進行管理	総じて市役所のPDCAサイクルは回っていないし、手ぬるい評価で終わっている。 外部評価委員による地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に準拠する報告は、3月議会に提出するものと理解するので、まだ未完と思われるが、是非とも見てみたい。	教育振興計画に掲げた取組を推進していくため、PDCAを踏まえた進行管理を行ってまいります。 なお、教育委員会点検・評価は、対象年度の翌年度6～7月に行っています。結果報告は8月下旬開会の第3回定例議会において報告しており、市役所のほか、図書館や公民館において閲覧することができます。
9	教職員の働き方改革	教職員の働き方についての記載が無い。 学校の業務を改善し、教師の負担軽減を図るべきである。 教職員の働き方の問題を関係各位に周知するためにも第二次下野市教育振興計画に記載すべきと思う。	教職員の働き方改革については、既に市内の小中学校で取り組んでおり、引き続き努めてまいります。